令和８年度　東京医科大学医学部医学科　第６学年シラバス

令和８年４月１日　第１版

●臨床医学系科目

科目名	形式	前期・後期	単位	頁
臨床医学Ⅴ				6
循環器				10
呼吸器				14
感染症				16
消化器				18
腎臓				21
血液・造血器				23
神経				25
内分泌・代謝				29
アレルギー・膠原病				32
産婦人科				34
小児科	講義	後	6	36
眼科				38
耳鼻咽喉科				40
整形外科				42
皮膚科				44
泌尿器科				46
形成外科				48
精神科				50
救急・中毒				52
麻酔				54
放射線				56
社会医学系				58

●臨床実習

科目名	形式	前期・後期	単位	頁
臨床医学Ⅳ	実習	前・後	28	1

開講科目名／Course	臨床医学IV	
時間割コード ／Course Code	11192001	
ナンバリングコード／Numbering Code	14903	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　前期／First Semester	
曜限／Day, Period	他／Others	
開講区分／semester offered	前期／First Semester	
単位数／Credits	28.0	
学年／Year	5,6	
主担当教員／Main Instructor	伊藤　正裕	
科目区分／Course Group	臨床実習　／臨床実習	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	実習	
科目責任者 ／Course Coordinator	伊藤 正裕	
科目担当者 ／Course Instructor		
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	□該当しない ■該当する　具体的な方法（診療参加型臨床実習）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview	臨床医学IV(Clinical Clerkship II)では、学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的とした診療参加型臨床実習を行う。 詳細は、「第5・6学年「臨床医学IV」実習ガイド」および「第5・6学年のための診療参加型臨床実習 Handbook」を参照のこと。診療現場で、知識、技能、態度を学ぶことが目標である。I期からVII期まで、診療チームの一員として医療面接、身体診察、診療録記載、プレゼンテーションを行う。 多職種基礎技能実践コースでは基本的臨床手技や多職種連携、多職種協働やチーム医療を修得することを目的としたシミュレーション実習を行う。 感染症実践コースでは感染症の診断と対応する実践的な能力を習得することを目的としたシミュレーション実習を行う。 自己学修のコンテンツとして、「セレクト」動画を指定している。単なる国家試験の対策ではなく、実習で経験した内容の知識の裏付けとして補完的に活用すること、特に、基礎医学と臨床医学を統合して、「病態生理学」の視点から診療現場で考えることが出来ることを目標としている。	
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	1．医療面接におけるスキルを実践できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	4-2・①・A
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	2．患者の病歴聴取と記録の項目を挙げることができる。

	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	4-2・②・A
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	3．主要な疾患の診察において、基礎医学・臨床医学の知識に基づく基本的な判断ができる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	4-1・① ②・A
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	4．患者・家族への指示、指導内容を説明できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応④ ／Alignment with Diploma Policy (4)	4-1・③・A
	授業の到達目標⑤ ／Course Learning Objectives(5)	5．基本的な全身の観察（バイタルサインを含む身体診察）ができる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑤ ／Alignment with Diploma Policy (5)	4-2・④・A
	授業の到達目標⑥ ／Course Learning Objectives(6)	6．基本的な臨床検査の適応や結果の解釈を説明できる。 7．基本的手技を指導の下に実施できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑥ ／Alignment with Diploma Policy (6)	4-2・⑤・A，4-2・⑥・A
	授業の到達目標⑦ ／Course Learning Objectives(7)	8．基本的治療法とその適応を説明できる。 9．指導の下、担当患者の医療記録を記載し、問題点を抽出できる。 10．保険・医療・福祉の各側面に配慮しつつ診療計画を作成できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑦ ／Alignment with Diploma Policy (7)	4-2・⑦・A，4-2・⑧・A，4-2・⑨・A
	授業の到達目標⑧ ／Course Learning Objectives(8)	9．指導の下、担当患者の医療記録を記載し、問題点を抽出できる。 10．保険・医療・福祉の各側面に配慮しつつ診療計画を作成できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑧ ／Alignment with Diploma Policy (8)	4-2・⑧・A，4-2・⑨・A
	授業の到達目標⑨ ／Course Learning Objectives(9)	11．患者の呈する症状や身体所見、簡単な検査初見に基づいて病態を評価し、鑑別診断や検査計画 を提示できる。 12．2次3次救急疾患の病態に応じた診療ができ、応急処置を述べることができる。 13．診療の場で、ステューデントドクターとして相応しい態度・行動をとることができる。 14．医療プロフェショナリズムを理解し、行動で示すことができる。

	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑨ ／Alignment with Diploma Policy (9)	4-2・⑩・A 4-2・⑪・A, 1・全て・A ３・全て・A
	授業の到達目標⑩ ／Course Learning Objectives(10)	教育到達目標レベルA，B，Cいずれかの内容について修得の機会はあるが、単位認定には関係ない 領域/項目
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑩ ／Alignment with Diploma Policy (10)	4-1・④・D，4-2・③・D，4-3・全て・D，5・全て・D，6・全て・D，7・全て・D，8・全て・D， 9・全て・D，10・全て・D
グループ別自主研究 ／Independent Research by Groups	研究課題名 ／Research Project Title	
	所属分野 ／Affiliated Field	
	担当者 ／Person in Charge	
	研究目的・内容・方法等 ／Research Objectives, Content, and Methods	
	研究場所 ／Research Location	
	備考 ／Ot	
授業の進め方と方法 ／Class Approach and Methods	第5学年1月から第6学年7月までの7か月、選択必修7コース（期）の診療参加型の臨床実習を行う。 詳細は、「第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイド」および「第5・6学年のための診療参加型臨床実習 Handbook」を参照のこと。 多職種基礎技能実践コースでは医学科・看護学科合同で全4回のテーマについて実際の手技場面を想定したシミュレーション実習を行う。 感染症実践コースでは感染症に関連した全6回のテーマについて少人数でのOSCEとシミュレーションを活用した実習を行う。 学外病院実習中は、Microsoft Teams～などを用いて学内担当教員とweb面談を実施し、実習状況の把握とフィードバックを行う。	
ICT活用 ／ICT Utilization	CC-EPOCを活用し臨床推論（症候・病態）の記録、基本的臨床手技の記録を行う。	
授業時間外の学習 ／Study outside of class hours	予習時間 ／Preparation time	第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイドを参照のこと。
	予習内容 ／Preparation content	第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイドを参照のこと。
	復習時間 ／Review time	第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイドを参照のこと。
	復習内容 ／Review content	第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイドを参照のこと。

成績評価方法・基準 ／Grading methods and standards	評価の方法と内訳（%） ／Evaluation method and breakdown (%)	●実習評価 100%、 多職種基礎技能実践コース・感染症実践コースについては実習中の知識、技能、態度および確認試 験で評価する。 診療参加型選択実習の評価は、診療現場のパフォーマンスに対して、知識、技能、態度の3要素を 統合して判断する。4週間の期ごとに、卒業時教育到達目標と関連した知識、技能、態度を含む全2 2項目の評価及び概略評価を実施する。項目評価は評価項目は、①プロフェショナリズム・コミュ ニケーション・多職種9項目、②診察技能、臨床推論13項目を含み、臨床実習評価用ルーブリック に基づいて評価する。また、概略評価は、1点臨床実習開始前レベル、2点臨床実習開始時レベル、 3点臨床実習中間レベル、4点臨床実習終了レベル、5点陳勝研修中間レベルのスケールで判定す る。 形成的評価：学生は予め実習の目標を提出し、指導医はCC EPOCを用いて形成的評価を行い、学生 はその実習中の進歩を確認できる。また、各期ごとの評価が低い場合[概略評価が不合格（1点また は2点）の場合、また評価項目での評価が低い場合]は、医学教育の担当教員が面談を行い、臨床実 習での課題についてのフィードバックを行う。 総括評価：1期から7期の期ごとの概略評価で不合格がある場合（1点または2点、7期の場合は3点） は、CCII合否判定委員会が、mini CEXなどの成績、学修成長曲線等を踏まえて最終判定を行う。 各期ともに出席率4/5以上の者が最終評価の対象となる。
	最終評価点 ／Final score	診療参加型臨床実習7コース（期）と多職種基礎技能実践コース・感染症実践コースを合わせた1 コース（期）の計8コース（期）について評価する。
	合格点 ／passing score	各コース（期）60点を合格とする。
	筆記試験の形式 ／Written exam format	
	再試験・対象者 ／Re-examination and	不合格となったコース（期）については再実習を行う。
	再試験・実施時期 ／Re-examination and implementation period	
	再試験・範囲 ／Re-examination/Scope	
	再試験・難易度 ／Re-examination and difficulty level	
	再試験・方法 ／Re-examination and method	
	課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法 ／How to provide feedback on assignments (exams, reports, etc.)	課題等に対する質問はオフィスアワーやe自主自学で回答する。
履修上の注意 ／Notes for Course Registration	第5～6学年「臨床医学IV」実習ガイドを参照のこと。	

オフィスアワー（担当者、日時、場所、IP電話、E-mailなど） ／Office Hours	後藤理英子goto.rieko.3u@tokyo-med.ac.jp 山口佳子 yosyamag@tokyo-med.ac.jp（水曜午後・金曜午後） 三苫 博 mitoma@tokyo-med.ac.jp
教科書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Textbook (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)	
参考書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Reference Book (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)	

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ	
時間割コード ／Course Code	11189900	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	他／Others	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	6.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	伊藤　正裕	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	伊藤 正裕	
科目担当者 ／Course Instructor		
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	□該当しない ■該当する　具体的な方法（一部講義で実施、方法は各系シラバス参照）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview	臨床実習で学んだ知識、考え方を再整理し、臨床現場で使える統合された知識、臨床推論能力を修得することが目的である。従って、基本概念の修得に重きを置いた第3，4学年の臨床医学の授業から一段階高いレベルで設計されている。 臨床医学Ⅴは、循環器・呼吸器・感染症、消化器・腎臓・血液造血器など６つのセクションからなる科目である。 スタイルは、「オンデマンド教材」の自己学修と「対面での双方向型演習」のハイブリッド型で実施する。この能動的な学修スタイルにより、机上の知識ではなく、臨床現場で使える統合された知識、臨床推論応力の獲得を期待している・ 自己学修のコンテンツとして、「セレクト」動画を指定している。単なる国家試験の対策ではなく、実習で経験した内容の知識の裏付けとして補完的に活用すること、特に、基礎医学と臨床医学を統合して、「病態生理学」の視点から診療現場で考えることが出来る能力を修得することを目標としている。	
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	1）自己の学習能力を分析し、具体的な学習計画を立てることができる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	5・⑤・A
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	2）医師国家試験出題基準の重要項目について説明できる。
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	4・全て・A

	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応④ ／Alignment with Diploma Policy (4)	
	授業の到達目標⑤ ／Course Learning Objectives(5)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑤ ／Alignment with Diploma Policy (5)	
	授業の到達目標⑥ ／Course Learning Objectives(6)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑥ ／Alignment with Diploma Policy (6)	
	授業の到達目標⑦ ／Course Learning Objectives(7)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑦ ／Alignment with Diploma Policy (7)	
	授業の到達目標⑧ ／Course Learning Objectives(8)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑧ ／Alignment with Diploma Policy (8)	
	授業の到達目標⑨ ／Course Learning Objectives(9)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑨ ／Alignment with Diploma Policy (9)	
	授業の到達目標⑩ ／Course Learning Objectives(10)	教育到達目標レベルA，B，Cいずれかの内容について修得の機会はあるが、単位認定には関係ない 領域/項目
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応⑩ ／Alignment with Diploma Policy (10)	1-1・①②・D，1-2・①②・D，3・全て・D，5・①②③④・D，6・全て・D，7・全て・D
グループ別自主研究 ／Independent Research by Groups	研究課題名 ／Research Project Title	
	所属分野 ／Affiliated Field	

	担当者 ／Person in Charge	
	研究目的・内容・方法等 ／Research Objectives, Content, and Methods	
	研究場所 ／Research Location	
	備考 ／Ot	
授業の進め方と方法 ／Class Approach and Methods	各臓器別講義では医師国家試験で出題される各論を中心に学習することとなる。各臓器の最後に設けるSummaryは国家試験の過去問について病態生理を解説し理解させる内容となる。また、社会医学系講義では保健医療論、予防と健康管理・増進といった総論系を学習することとなる。	
ICT活用 ／ICT Utilization		
授業時間外の学習 ／Study outside of class hours	予習時間 ／Preparation time	30分
	予習内容 ／Preparation content	受講前には、各臓器のネット講座を視聴し、ノートを作成しておくことが必須である。また、特に 講義内容に掲げてあるキーワードの疾患について知識を整理し、講義に臨んでもらいたい。
	復習時間 ／Review time	30分
	復習内容 ／Review content	本講義にて新たなる知識を得るものではない。したがって、予習で理解できなかった内容を講義中 に担当教員に確認し、再度、復習により知識を確実なものにしてもらいたい。
成績評価方法・基準 ／Grading methods and standards	評価の方法と内訳（%） ／Evaluation method and breakdown (%)	●授業評価 100%、講義に対する知識はもとより、講義で取り上げない内容についても出題し、自己学習の成 果を評価することを目的とする。また、出席率が2/3以上の者が、最終評価の対象となる。
	最終評価点 ／Final score	各Section終了時のSection試験（全6回）と臨床演習試験（全3回）を実施する。 評価は各セクション試験成績（平均点）を40%、臨床演習試験成績（平均点）を60%として総合的 に判定する。
	合格点 ／passing score	68.0%を合格基準点とする。
	筆記試験の形式 ／Written exam format	多肢選択方式で行う。
	再試験・対象者 ／Re-examination and	臨床医学Ｖ最終評価が合格基準点に達しない者。
	再試験・実施時期 ／Re-examination and implementation period	臨床医学Ｖ全試験終了後に実施する。
	再試験・範囲 ／Re-examination/Scope	本試験に準ずる。
	再試験・難易度 ／Re-examination and difficulty level	原則として本試験と同等（以上）とする。
	再試験・方法 ／Re-examination and method	本試験に準ずる。

	課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法 ／How to provide feedback on assignments (exams, reports, etc.)	試験終了後に正解表・解説書を配布する。 試験に対する質問については出題者へ確認し回答する。
履修上の注意 ／Notes for Course Registration	1）臨床を中心に臓器系統別に分け、約2週間を一区切りとし、最終週では主に社会医学系を集中して行い6つの区分（セクション）により学習する。 2）本講義では、医師国家試験に必要とされる内容すべてを網羅することはできないので、講義で取り扱われなかった部分は、自己学習により確認することが必要である。	
オフィスアワー（担当者、日時、場所、IP電話、E-mailなど） ／Office Hours	各講義担当者と事前連絡にて調整すること。	
教科書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Textbook (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)	多岐にわたる領域のため、必要な教科書・参考書があれば適宜講義担当者から挙げてもらう。	
参考書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Reference Book (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)		

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（循環器）Section1	
時間割コード ／Course Code	11200700	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	火／Tue 1, 火／Tue 2, 火／Tue 3, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	里見　和浩	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	里見 和浩	
科目担当者 ／Course Instructor	里見 和浩(循環器内科学)、福田 尚司(心臓血管外科学)、椎名 一紀(循環器内科学)、肥田 敏(循環器内科学)、小菅 寿徳(循環器内科学)、武井 康悦(循環器内科学)、山下 淳（循環器内科学）、岩橋 徹(心臓血管外科学)、石井 宏樹(小児科・思春期科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8月18日（火）1限　講義	心不全	心不全の原因疾患と病態生理を説明できる。 左心不全と右心不全の診断を説明し、治療を概説できる。 急性心不全の定義と重症度分類を説明できる。 急性心不全の病態生理を説明できる。 急性心不全の診断を説明し、治療を概説できる。 慢性心不全の診断を説明し、治療を概説できる。 心原性ショックの治療を概説できる。 1.左心不全 2.右心不全 3.急性心不全 4.慢性心不全 5.心原性ショック	小菅 寿徳(循環器内科学)
8月18日（火）2限　講義	不整脈	主な頻脈性不整脈の心電図上の特徴と治療を説明できる。 主な徐脈性不整脈の心電図上の特徴と治療を説明できる 致死的不整脈の心電図上の特徴と治療を説明できる。 薬物療法、非薬物療法について概説できる。 1.上室(性)頻脈性不整脈 2.心室(性)頻脈性不整脈 3.徐脈性不整脈 4.薬物療法 5.非薬物療法	里見 和浩(循環器内科学)
8月18日（火）3限　講義	心筋・心膜疾患・心臓腫瘍	心筋炎の病因と症候を説明できる。 肥大型心筋症の定義･概念と病態生理を説明できる。 拡張型心筋症の定義･概念と病態生理を説明できる。 不整脈源性右室心筋症の概念を説明できる。 二次性心筋疾患の原因と病態生理を説明できる。 急性心膜炎の症候を説明できる。 心タンポナーデの原因と診断を説明し、治療を概説できる。 心臓腫瘍の症候と診断を概説できる 1.心筋炎 2.特発性心筋症 3.心膜疾患 4.心タンポナーデ 5.心臓腫瘍	椎名 一紀（循環器内科学）

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8月19日（水）1限　講義	心電図・画像診断演習	12誘導心電図の検査方法や所見を述べることができる。 Holter心電図の適応を概説できる。 胸部単純エックス線写真の読影や異常所見が評価できる。 胸部CTの異常所見を評価できる。 心筋シンチグラフィ、冠動脈CT,心臓MRIの正常所見、異常所見を評価できる。 1.12誘導心電図 2.胸部単純エックス線写真 3.胸部CT 4.循環器画像診断	肥田 敏（循環器内科学）
8月19日（水）2限　講義	弁膜症	僧帽弁疾患の原因･病態生理･診断･治療を概説できる。 大動脈弁疾患の原因･病態生理･診断･治療を概説できる。 感染性心内膜炎の原因、症候と診断を説明し、治療を概説できる。 1. 僧帽弁疾患 2.大動脈弁疾患 3.感染性心内膜炎	武井 康悦（循環器内科学）
8月19日（水）3限　講義	手術と術後管理・人工臓器	心臓血管外科手術の基本を概説できる。 心臓血管外科手術で用いる体外循環と補助手段を概説できる。 虚血性心疾患に対する手術適応と術式を概説できる。 弁膜症の手術適応を説明し、手術法を概説できる。 1.手術の選択 2.体外循環と補助手段 3.人工弁・血管 4.補助循環	福田 尚司（心臓血管外科学）
8月20日（木）1限　講義	脈管疾患	大動脈瘤を概説できる。 大動脈解離を概説できる。 大動脈炎症候群を概説できる。 深部静脈血栓症の原因と症候、治療を説明できる。 上大静脈症候群の原因と症候を説明できる。 下肢静脈瘤を概説できる。 リンパ浮腫の原因を列挙できる。 1.大動脈疾患 2.末梢動脈疾患 3.静脈疾患 4.リンパ管疾患	岩橋 徹　（心臓血管外科学）
8月20日（木）2限　講義	先天性心疾患	左右短絡疾患、右左短絡疾患、その他の複雑心奇形の病態生理･症候と診断を説明し、治療を概説できる。 1.左右短絡疾患 2.右左短絡疾患 3.その他の複雑心奇形	石井 宏樹（小児科・思春期科学）

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8月20日（木）3限　講義	虚血性心疾患	狭心症の病態生理･症候と診断を説明できる。 不安定狭心症の病態生理･症候と診断、治療を説明できる。 急性心筋梗塞の病態生理･症候･診断と合併症、治療を説明できる。 不安定狭心症の病態生理･症候と診断を説明できる。 陳旧性心筋梗塞の病態生理･症候･診断と治療を説明できる。 冠動脈造影、カテーテル治療の適応、方法、合併症を概説できる。 1.狭心症 2.急性冠症候群 3.陳旧性心筋梗塞 4.冠動脈造影 5.カテーテル治療	山下 淳（循環器内科学）
8月21日（金）1限　講義	Summary ・循環器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
8月21日（金）2限　講義	Summary ・循環器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（呼吸器）Section1	
時間割コード ／Course Code	11200800	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 月／Mon 3, 火／Tue 1, 火／Tue 2, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 木／Thu 1, 木／Thu 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	阿部　信二	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	阿部 信二	
科目担当者 ／Course Instructor	阿部 信二(呼吸器内科学)、工藤 勇人(呼吸器・甲状腺外科学)、石川 孝(乳腺科学)、渡邉 秀裕(感染制御部)、河野 雄太(呼吸器内科学)、石割 茉由子(呼吸器内科学)、三笘 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8月24日（月）1限　講義	感染性呼吸器疾患	1.呼吸器ウイルス感染症 2.細菌性肺炎、非定形肺炎 3.肺真菌症 4.抗酸菌症 5.日和見感染症	渡邉 秀裕（感染制御部）
8月24日（月）2限　講義	肺循環異常と呼吸調節異常	1.肺水腫 2.肺血栓塞栓症 3.肺高血圧症 4.睡眠時無呼吸症候群 5.過換気症候群	石割 茉由子（呼吸器内科学）
8月24日（月）3限　講義	気管･気管支･肺の形態・機能異常	1.慢性閉塞性肺疾患 2.気管支拡張症 3.びまん性汎細気管支炎 4.無気肺	河野 雄太（呼吸器内科学）
8月25日（火）1限　講義	免疫学的機序が考えられる疾患	1.気管支喘息 2.アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 3.好酸球性疾患 4.血管炎関連疾患 5.サルコイドーシス	河野 雄太（呼吸器内科学）
8月25日（火）2限　講義	実質性・間質性肺障害・胸膜疾患	1.特発性間質性肺炎 2.肺リンパ脈管筋腫症 3.じん肺症 4.肺胞蛋白症	阿部 信二（呼吸器内科学）
8月26日（水）1限　講義	肺・胸膜・縦隔の形態・機能異常と腫瘍	1.肺癌 2.転移性肺腫瘍 3.縦隔腫瘍 4.胸膜腫瘍 5.気胸、緊張性気胸	工藤 勇人（呼吸器・甲状腺外科学）
8月26日（水）2限　講義	乳腺・乳房疾患	1.乳腺線維腺腫、葉状腫瘍 2.乳房悪性腫瘍（乳癌）	石川 孝（乳腺科学）
8月27日（木）1限　講義	Summary ・呼吸器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
8月27日（木）2限　講義	Summary ・呼吸器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（感染症）Section1	
時間割コード ／Course Code	11200900	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	金／Fri 1, 金／Fri 2, 金／Fri 3, 金／Fri 4	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	渡邉　秀裕	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	渡邉 秀裕	
科目担当者 ／Course Instructor	渡邉 秀裕(感染制御部)、中村 茂樹(微生物学)、中村 造(感染制御部)、村松 崇(臨床検査医学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
8月28日（金）1限　講義	感染症総論	1.感染の病態 2.感染経路 3.検査 4.敗血症 5.輸入感染症	中村 茂樹（微生物学）
8月28日（金）2限　講義	感染症の治療　抗微生物薬の適正使用	1.抗菌薬 2.抗真菌薬 3.抗ウイルス薬 4.副作用と禁忌	中村 造（感染制御部）
8月28日（金）3限　講義	医療関連感染対策とそれに関連する法令	1.感染対策と予防 2.サーベイランス 3.感染経路別予防策 4.耐性菌対策 5.医療関連感染 6.感染症法	渡邉 秀裕（感染制御部）
8月28日（金）4限　講義	免疫不全と感染（AIDS）	1.日和見感染 2.細胞性免疫 3.抗HIV療法	村松 崇（臨床検査医学）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（消化器）Section2	
時間割コード ／Course Code	11201000	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	火／Tue 1, 火／Tue 2, 火／Tue 3, 火／Tue 4, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 水／Wed 4, 木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	永川　裕一	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	永川 裕一	
科目担当者 ／Course Instructor	糸井 隆夫(消化器内科学)、金沢 景繁(消化器・小児外科学)、福澤 誠克(消化器内科学)、永井 一正(消化器内科学)、内藤 咲貴子(消化器内科学)、真崎 純一(消化器・小児外科学)、桒原 寛(消化器・小児外科学)、掛川 達矢(消化器内科学)、村松 孝洋(消化器内科学)、吉益 悠(消化器内科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月1日（火）1限　講義	上部消化管の良性疾患	1.逆流性食道炎 2.食道アカラシア 3.食道静脈瘤 4.急性胃粘膜病変 5.胃・十二指腸潰瘍	内藤 咲貴子（消化器内科学）
9月1日（火）2限　講義	上部消化管の腫瘍	1.食道癌 2.胃ポリープ 3.胃癌 4.GIST	村松 孝洋（消化器内科学）
9月1日（火）3限　講義	下部消化管の炎症・感染症	1.過敏性腸症候群 2.感染性腸炎 3.Crohn病 4.潰瘍性大腸炎 5.虚血性大腸炎	福澤 誠克（消化器内科学）
9月1日（火）4限　講義	下部消化管の腫瘍	1.大腸ポリープ 2.消化管ポリポーシス 3.大腸癌	福澤 誠克（消化器内科学）
9月2日（水）1限　講義	消化管の外科的治療	消化管癌の治療、主に外科治療と合併症について概説できる。 肛門疾患の治療、特に外科治療と合併症について概説できる。 1.食道癌 2.胃癌 3.大腸癌・炎症性腸疾患 4.肛門疾患	桒原 寛（消化器・小児外科学）
9月2日（水）2限　講義	肝の炎症・門脈亢進症	1.急性肝炎 2.慢性肝炎 3.肝硬変 4.薬剤性肝障害 5.門脈亢進症	掛川 達矢（消化器内科学）
9月2日（水）3限　講義	肝腫瘍と感染症	1.肝血管腫 2.肝細胞癌 3.転移性肝癌 4.肝膿瘍	吉益 悠（消化器内科学）
9月2日（水）4限　講義	胆道疾患	1.胆嚢・胆管炎 2.胆石症 3.胆嚢ポリープ 4.胆嚢癌・胆管癌	糸井 隆夫（消化器内科学）
9月3日（木）1限　講義	膵疾患	1.急性膵炎 2.慢性膵炎 3.自己免疫性膵炎 4.膵嚢胞性腫瘍 5.膵癌	永井 一正（消化器内科学）
9月3日（木）2限　講義	肝・胆・膵の外科的治療	胆石症、膵嚢胞性疾患、膵内分泌腫瘍の治療、特に外科治療と合併症について概説できる。 肝臓癌、胆道癌、膵臓癌の治療、主に外科治療と合併症について概説できる。 1.胆嚢炎・胆石症 2.肝癌 3.胆嚢癌・胆管癌 4.膵癌	金沢 景繁（消化器・小児外科学）

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月3日（木）3限　講義	急性腹症	急性腹症の病態、鑑別診断について概説できる。 急性腹症の治療、特に外科治療と合併症について概説できる。 1.虫垂炎 2.ヘルニア 3.イレウス 4.腹膜炎 5.消化管穿孔	金沢 景繁（消化器・小児外科学）
9月4日（金）1限　講義	Summary ・消化器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
9月4日（金）2限　講義	Summary ・消化器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（腎臓）Section2	
時間割コード ／Course Code	11201100	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 月／Mon 3, 月／Mon 4, 火／Tue 1, 火／Tue 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	菅野　義彦	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	菅野 義彦	
科目担当者 ／Course Instructor	菅野 義彦(腎臓内科学)、長井 美穂(腎臓内科学)、知名 理絵子(腎臓内科学)、鈴木 梨江(腎臓内科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月7日（月）1限　講義	腎疾患の症候と検査	1.蛋白尿・血尿など 2.腎機能検査 3.水・電解質の異常	知名 理絵子（腎臓内科学）
9月7日（月）2限　講義	糸球体病変	1.糸球体腎炎 2.ネフローゼ症候群 3.全身疾患に伴う腎疾患	鈴木 梨江（腎臓内科学）
9月7日（月）3限　講義	血管･尿細管･間質性病変	1.腎血管疾患 2.尿細管間質疾患 3.尿細管機能異常（酸塩基平衡の異常）	長井 美穂（腎臓内科学）
9月7日（月）4限　講義	腎機能の障害による異常	1.急性腎不全 2.慢性腎臓病・慢性腎不全 3.血液浄化	菅野 義彦（腎臓内科学）
9月8日（火）1限　講義	Summary ・腎臓		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
9月8日（火）2限　講義	Summary ・腎臓		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（血液・造血器）Section2	
時間割コード ／Course Code	11201200	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	赤羽　大悟	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	赤羽 大悟	
科目担当者 ／Course Instructor	木内 英(臨床検査医学)、後藤 守孝(血液内科学)、伊藤 良和(臨床研究支援センター)、天野 景裕(臨床検査医学)、岡部 聖一(血液内科学)、吉澤 成一郎(血液内科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月9日（水）1限　講義	輸血とその副作用	1.輸血製剤 2.輸血の適応 3.輸血検査 4.輸血の副作用	天野 景裕（臨床検査医学）
9月9日（水）2限　講義	凝固因子の異常・血栓症	1.血友病 2.von Willebrand病等 3.DIC 4.先天性・後天性血栓傾向 5.血栓症	木内 英（臨床検査医学）
9月9日（水）3限　講義	赤血球系疾患	1.鉄代謝障害 2.巨赤芽球性貧血 3.溶血性貧血 4.骨髄不全症候群	伊藤 良和（臨床研究支援センター）
9月10日（木）1限　講義	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	1.急性白血病 2.骨髄異形成症候群 3.慢性骨髄性白血病 4.原発性骨髄線維症 5.本態性血小板血症 6.真性赤血球増加症	岡部 聖一（血液内科学）
9月10日（木）2限　講義	リンパ系疾患	1.Hodgkinリンパ腫 2.成熟B細胞腫瘍 3.成熟T細胞･NK細胞腫瘍 4.血球貪食症候群	吉澤 成一郎（血液内科学）
9月10日（木）3限　講義	血小板の異常 造血幹細胞移植	1.特発性血小板減少性紫斑病 2.血栓性血小板減少性紫斑病 3.溶血性尿毒症症候群 4.血小板機能異常 5.造血幹細胞移植	後藤 守孝（血液内科学）
9月11日（金）1限　講義	Summary ・血液・造血器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
9月11日（金）2限　講義	Summary ・血液・造血器		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（神経）Section3	
時間割コード ／Course Code	11201300	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	火／Tue 1, 火／Tue 2, 火／Tue 3, 火／Tue 4, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 1, 木／Thu 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	赫　寛雄	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	赫 寛雄	
科目担当者 ／Course Instructor	赫 寛雄(神経学)、河野 道宏(脳神経外科学)、清水 聰一郎(高齢総合医学)、加藤 陽久(神経学)、日出山 拓人(神経学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

	備考 ／Ot	
授業の進め方と方法 ／Class Approach and Methods		
ICT活用 ／ICT Utilization		
授業時間外の学習 ／Study outside of class hours	予習時間 ／Preparation time	30分
	予習内容 ／Preparation content	基礎医学・臨床医学の講義およびclinical clerkshipで学んだ内容、ならびに過去の国家試験問題 について、概ね30分程度の時間をかけて確認しておくこと。
	復習時間 ／Review time	30分
	復習内容 ／Review content	講義内容を踏まえ、配布された講義資料を用いて、神経学（脳神経内科領域・脳神経外科領域）に ついて概ね30分程度かけて理解を深めること。
成績評価方法・基準 ／Grading methods and standards	評価の方法と内訳（%） ／Evaluation method and breakdown (%)	定期試験 100%
	最終評価点 ／Final score	
	合格点 ／passing score	60点
	筆記試験の形式 ／Written exam format	多肢選択法・記述
	再試験・対象者 ／Re-examination and	本試験不合格者
	再試験・実施時期 ／Re-examination and implementation period	別に定める
	再試験・範囲 ／Re-examination/Scope	本試験と同一
	再試験・難易度 ／Re-examination and difficulty level	本試験と同一
	再試験・方法 ／Re-examination and method	本試験と同一
	課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法 ／How to provide feedback on assignments (exams, reports, etc.)	試験終了後に正解・解説書を配布する。質問については出題者へ確認し回答する。
履修上の注意 ／Notes for Course Registration	本講義は神経学の総括に位置づけられ、医師として臨床に携わるうえでの必須知識を扱う。各自、内容を十分に理解し、不明な点があれば質問のうえ解決しておくこと。	

オフィスアワー（担当者、日時、場所、IP電話、E-mailなど） ／Office Hours	神経学 火曜日 16：30-18：00 教育研究棟 13 階 2156（脳神経内科医局） sc-neuro@tokyo-med.ac.jp 脳神経外科学 火曜日 16：30-18：00 教育研究棟 11 階 5773（脳神経外科医局） n-surg@tokyo-med.ac.jp 高齢総合医学 火曜日 16：30-18：00 教育研究棟 7 階 5759（高齢診療科医局） soichiro@tokyo-med.ac.jp
教科書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Textbook (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)	1)「新臨床内科学（第10版）」矢崎義雄 監、医学書院、2020 2)「標準神経病学（第2版）」 水野美邦 監、医学書院、2012 3)「標準脳神経外科学（第 15 版）」、山浦晶 等編、医学書院、2021
参考書（書籍名、著書名、出版社名、費用など） ／Reference Book (Title, Author, Publisher, Cost, etc.)	配布される資料

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月15日（火）1限　講義	脱髄疾患および神経免疫疾患	脱髄疾患および神経免疫疾患について理解し、適切に対応するための知識を修得する。　1.多発性硬化症・視神経脊髄炎 2.急性散在性脳脊髄炎 3.Guillain-Barre症候群 4.重症筋無力症 5.内科疾患に関連する神経疾患	日出山 拓人（神経学）
9月15日（火）2限　講義	認知症性疾患	1.軽度認知障害 2.Alzheimer病 3.脳血管性認知症 4.Lewy小体型認知症 5.前頭側頭型認知症	清水 聰一郎（高齢総合医学）
9月15日（火）3限　講義	機能性疾患および神経感染性・炎症性疾患	機能性疾患および神経感染症・炎症性疾患について理解し、適切に対応するための知識を修得する。　1.頭痛 2.てんかん 3.感染性・炎症性疾患	赫 寛雄(神経学)
9月15日（火）4限　講義	神経変性疾患	神経変性疾患について理解し、適切に対応するための知識を修得する。　1.パーキンソン病 2.多系統萎縮症 3.進行性核上性麻痺 4.Huntington舞踏病 5.脊髄小脳変性症 6.筋萎縮性側索硬化症 7.ジストニア 8.本態性振戦	赫 寛雄(神経学)
9月16日（水）1限　講義	脳腫瘍 110分講義	1.くも膜下出血 2.脳実質内腫瘍 3.脳実質外腫瘍 4.転移性脳腫瘍	河野 道宏(脳神経外科学)
9月16日（水）2限　講義	脳血管障害（脳出血・脳梗塞）	脳血管障害について理解し、適切に対応するための知識を修得する。　1.脳出血 2.脳梗塞 3.その他の脳血管障害	加藤 陽久(神経学)
9月16日（水）3限　講義	ニューロパチーと筋疾患	ニューロパチーと筋疾患を理解し、適切に対応するための知識を修得する。　1.ニューロパチー 2.ミオパチー・筋ジストロフィー	加藤 陽久(神経学)
9月17日（木）1限　講義	Summary ・神経		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
9月17日（木）2限　講義	Summary ・神経		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（内分泌・代謝）Section3	
時間割コード ／Course Code	11201400	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2, 金／Fri 3, 金／Fri 4	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	酒井　裕幸	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	酒井 裕幸	
科目担当者 ／Course Instructor	酒井 裕幸(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、高本 偉碩（茨城・代謝内分泌内科）、諏訪内 浩紹(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、佐々木 順子(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、松下 隆哉(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、赤岡 寛晃(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、原 一雄(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月18日（金）1限　講義	間脳・下垂体疾患	間脳・下垂体疾患について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目については重点的に学習する：1.先端巨大症、2.プロラクチン産生腫瘍、3.下垂体前葉機能低下症、4.尿崩症、5.ADH不適合分泌症候群	松下 隆哉（八王子・糖尿病・代謝・内分泌内科）
9月18日（金）2限　講義	甲状腺疾患	甲状腺疾患について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.Basedow病、2.慢性甲状腺炎、3.亜急性甲状腺炎、4無痛性甲状腺炎、5.Plummer病、6.甲状腺中毒症、7.甲状腺機能亢進症、7.甲状腺腫瘍（甲状腺癌、悪性リンパ腫）	酒井 裕幸（糖尿病・代謝・内分泌内科学）
9月18日（金）3限　講義	副腎皮質疾患	副腎皮質疾患について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.Cushing症候群、2.原発性アルドステロン症、3.続発性アルドステロン症、4.副腎不全、5先天性副腎皮質酵素欠損症	諏訪内 浩紹（糖尿病・代謝・内分泌内科学）
9月18日（金）4限　講義	副甲状腺・副腎髄質疾患	副甲状腺・副腎髄質疾患について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.原発性副甲状腺機能亢進症、2.悪性腫瘍にともなう高カルシウム血症、3.副甲状腺機能低下症、4.偽性副甲状腺機能低下症、5.褐色細胞腫、6.多発性内分泌腫瘍症	赤岡 寛晃（糖尿病・代謝・内分泌内科学）
9月24日（木）1限　講義	糖｛質｝代謝異常①	糖代謝異常について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.糖尿病の診断と検査、2.糖尿病の治療、3.低血糖症	原 一雄（糖尿病・代謝・内分泌内科学）
9月24日（木）2限　講義	糖｛質｝代謝異常②	糖代謝異常について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.糖尿病の慢性合併症、2.糖尿病ケトアシドーシス、3.高血糖高浸透圧症候群	高本 偉碩（茨城・代謝内分泌内科）

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月24日（木）3限　講義	脂質代謝およびその他の代謝異常	脂質異常症およびその他の代謝異常について国家試験レベルでの理解や必要な知識を得る。 特に以下の項目について重点的に学習する：1.脂質異常症、2.肥満症、3.高尿酸血症、4.ビタミン欠乏症	佐々木 順子（糖尿病・代謝・内分泌内科学）
9月25日（金）1限　講義	Summary ・内分泌・代謝	Summary ・内分泌・代謝	三苫 博（教学マネジメント統括本部）
9月25日（金）2限　講義	Summary ・内分泌・代謝	Summary ・内分泌・代謝	三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（アレルギー・膠原病）Section3	
時間割コード ／Course Code	11201500	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 月／Mon 3, 月／Mon 4	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	沢田　哲治	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	沢田 哲治	
科目担当者 ／Course Instructor	沢田 哲治(リウマチ・膠原病内科学)、太原 恒一郎(リウマチ・膠原病内科学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
9月28日（月）1限　講義	全身疾患としての膠原病（1）	関節リウマチ、脊椎関節炎、抗核抗体関連膠原病の病態、臨床所見、治療について説明できる。 1.関節リウマチ 2.多発性筋炎・皮膚筋炎 3.強皮症 4.混合性結合組織病 5.HLA‐B27関連リウマチ性疾患	太原 恒一郎（リウマチ・膠原病内科学）
9月28日（月）2限　講義	全身疾患としての膠原病（2）	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群、Sjogren症候群、成人Still病について、病態、臨床所見、治療を説明できる。 1.全身性エリテマトーデス 2.抗リン脂質抗体症候群 3.Sjogren症候群 4.成人Still病	太原 恒一郎（リウマチ・膠原病内科学）
9月28日（月）3限　講義	アレルギー性内科疾患	アナフィラキシーの病態、臨床所見、治療について説明できる。 成人の食物アレルギー、アレルギー性肺疾患について概説できる。 1.アナフィラキシー 2.アレルギー性気管支肺アスペルギルス症 3.過敏性肺炎 4.口腔アレルギー症候群	沢田 哲治（リウマチ・膠原病内科学）
9月28日（月）4限　講義	全身疾患としての膠原病（3）	血管炎症候群を中心とする膠原病類縁疾患について、病態、臨床所見、治療について説明できる。 線維筋痛症について概要を説明できる。 1.血管炎症候群 2.Behcet病 3.リウマチ性多発筋痛症 4.線維筋痛症	沢田 哲治（リウマチ・膠原病内科学）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（産婦人科）Section4	
時間割コード ／Course Code	11201600	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 火／Tue 1, 火／Tue 2, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	西　洋孝	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	西 洋孝	
科目担当者 ／Course Instructor	西 洋孝(産科婦人科学)、小野 政徳(産科婦人科学)、野平 知良(医学・看護学教育推進センター)、佐々木 徹(産科婦人科学)、小島 淳哉(産科婦人科学)、森田 吉洋(産科婦人科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
10月14日（水）1限　講義	正常妊娠	1.妊娠の成立・維持 2.胎児付属物 3.胎児・胎盤循環 4.子宮・母体の変化	小島 淳哉（産科婦人科学）
10月14日（水）2限　講義	異常妊娠	1.流産・早産 2.ハイリスク妊娠 3.合併症妊娠 4.母子感染	野平 知良（医学・看護学教育推進センター）
10月14日（水）3限　講義	正常分娩	1.分娩の3要素 2.分娩の経過 3.分娩の機転	野平 知良（医学・看護学教育推進センター）
10月15日（木）1限　講義	異常分娩	1.陣痛の異常 2.産道の異常 3.胎位・回旋の異常 4.胎盤の異常 5.出血と産科ショック	野平 知良（医学・看護学教育推進センター）
10月15日（木）2限　講義	産科の診察と検査	1.Bishopスコア 2.胎児心拍数陣痛図 3.超音波検査 4.ノンストレステスト 5.羊水検査	野平 知良（医学・看護学教育推進センター）
10月15日（木）3限　講義	産褥・胎児	1.産褥の経過 2.産褥の異常 3.胎児の発育 4.胎児の異常	野平 知良（医学・看護学教育推進センター）
10月16日（金）1限　講義	月経異常、不妊症、不育症	1.月経周期と量の異常 2.月経困難症 3.不妊、不育	森田吉洋（産科婦人科学）
10月16日（金）2限　講義	女性ヘルスケア、更年期症候群、骨盤臓器脱	1.女性ヘルスケア 2.更年期症候群 3.骨盤臓器脱	森田吉洋（産科婦人科学）
10月19日（月）1限　講義	子宮筋腫、子宮腺筋症、 子宮内膜症と感染症	1.子宮筋腫 2.子宮腺筋症 3.子宮内膜症 4.女性生殖器の炎症 5.性感染症	西 洋孝（産科婦人科学）
10月19日（月）2限　講義	腫　瘍	1.子宮癌 2.卵巣腫瘍 3.絨毛性疾患	佐々木 徹（産科婦人科学）
10月20日（火）1限　講義	Summary ・産婦人科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
10月20日（火）2限　講義	Summary ・産婦人科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（小児科）Section4	
時間割コード ／Course Code	11201700	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	山中　岳	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	山中 岳	
科目担当者 ／Course Instructor	山﨑 崇志(小児科・思春期科学)、古賀 寛之(消化器・小児外科学)、森地 振一郎(小児科・思春期科学)、石田 悠(小児科・思春期科学)、高橋 諒(小児科・思春期科学)、奈良 昇乃助(小児科・思春期科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
10月21日（水）1限　講義	小児の消化器疾患	1.先天性食道閉鎖症 2.Hirschsprung病 3.腸重積症 4.鎖肛 5.ヘルニア	古賀 寛之（消化器・小児外科学）
10月21日（水）2限　講義	成長と発達	1.小児の成長 2.行動の発達 3.反射の発達 4.臓器の発達 5.小児栄養	石田 悠（小児科・思春期科学）
10月21日（水）3限　講義	新生児	1.新生児の生理 2.新生児仮死 3.低出生体重児 4.呼吸窮迫症候群 5.新生児黄疸	奈良 昇乃助（小児科・思春期科学）
10月22日（木）1限　講義	小児の神経疾患	1.熱性けいれん 2.てんかん 3.神経線維腫症 4.結節性硬化症 5.脳性麻痺	森地 振一郎（小児科・思春期科学）
10月22日（木）2限　講義	小児の内分泌・代謝疾患	1.低身長 2.クレチン症 3.性早熟症 4.糖(質)代謝異常 5.先天性代謝異常	高橋 諒（小児科・思春期科学）
10月22日（木）3限　講義	小児の膠原病・免疫不全・感染症	1.川崎病 2.リウマチ熱 3.若年性特発性関節炎 4.免疫不全症 5.小児の主なウイルス感染症 6.小児の主な細菌感染症	山﨑 崇志（小児科・思春期科学）
10月23日（金）1限　講義	Summary ・小児科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）
10月23日（金）2限　講義	Summary ・小児科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（眼科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11201800	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	火／Tue 1, 火／Tue 2, 火／Tue 3, 木／Thu 1	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	若林　美宏	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	若林 美宏	
科目担当者 ／Course Instructor	若林 美宏(眼科学)、馬詰 和比古(眼科学)、川上 摂子(眼科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
10月27日（火）1限　講義	検査 視機能異常・視神経疾患	基本事項を総復習し、眼科学に対する理解を確実にする。 1.視器一般検査 2.視機能検査 3.視機能異常 4.視神経疾患 5.眼位・眼球運動障害	川上 摂子（眼科学）
10月27日（火）2限　講義	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	基本事項を総復習し、眼科学に対する理解を確実にする。 1.ぶどう膜炎 2.網膜の異常 3.硝子体の異常 4.眼内腫瘍	若林 美宏（眼科学）
10月27日（火）3限　講義	眼窩・外眼部・前眼部の疾患	基本事項を総復習し、眼科学に対する理解を確実にする。 1.眼窩の異常 2.眼瞼結膜の異常 3.眼表面・涙器の異常 4.白内障、緑内障 5.眼の外傷	馬詰 和比古（眼科学）
10月29日（木）1・2限　講義	Summary ・眼科 ・耳鼻咽喉科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（耳鼻咽喉科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11201900	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 木／Thu 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	塚原　清彰	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	塚原 清彰	
科目担当者 ／Course Instructor	塚原 清彰(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)、小川 恭生(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)、河野 通秀(口腔外科学)、丸山 諒(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
10月28日（水）1限　講義	喉頭・咽頭・唾液腺疾患	1.喉頭の異常 2.咽頭の異常 3.唾液腺の異常 4.頸部の異常についての理解を深める。	塚原 清彰（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
10月28日（水）2限　講義	外耳・中耳・内耳疾患	1.外耳道の異常 2.鼓膜の異常 3.中耳の異常 4.内耳の異常 5.前庭の異常についての理解を深める。	小川 恭生（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
10月28日（水）3限　講義	鼻腔・鼻副鼻腔・口腔疾患	1.鼻腔の異常 2.鼻副鼻腔の異常 3.鼻アレルギー 4.口腔の異常 5.顎骨の異常についての理解を深める。	河野 通秀（口腔外科学） 丸山 諒（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）
10月29日（木）1・2限 講義	Summary ・眼科 ・耳鼻咽喉科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（整形外科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11202000	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	水／Wed 1, 金／Fri 1, 金／Fri 2, 金／Fri 3	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	立岩　俊之	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	立岩 俊之	
科目担当者 ／Course Instructor	立岩 俊之(整形外科学)、西村 浩輔(整形外科学)、永井 太朗(整形外科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
10月30日（金）1限　講義	脊椎・脊髄疾患 骨・関節系統疾患	1.脊椎・脊髄疾患 2.骨系統疾患 3.代謝性疾患 4.脊髄損傷 5.先天奇形	西村 浩輔（整形外科学）
10月30日（金）2限　講義	上肢・下肢の運動器疾患 非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	1.肩・肘・膝・股関節の疾患 2.手・下腿・足の疾患 3.滑膜炎、関節炎、関節症、四肢軟部病変 4.骨折、外傷	立岩 俊之（整形外科学）
10月30日（金）3限　講義	骨・軟部腫瘍と類似疾患 運動器の感染・炎症性疾患	1.原発性良性・悪性骨腫瘍 2.転移性骨腫瘍 3.骨腫瘍類似疾患 4.良性・悪性軟部腫瘍 5.骨・関節感染症	永井 太朗（整形外科学）
11月4日（水）1・2限　講義	Summary ・整形外科 ・皮膚科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（皮膚科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11202100	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 月／Mon 3, 水／Wed 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	原田　和俊	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	原田 和俊	
科目担当者 ／Course Instructor	原田 和俊(皮膚科学)、伊藤 友章(皮膚科学)、加藤 雪彦(皮膚科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月2日（月）1限　講義	皮膚の構造と機能、角化症、水疱症、膿疱症、血管障害、光線過敏症、附属器疾患	1.皮膚の構造 2.乾癬、扁平苔癬 3.天疱瘡、類天疱瘡 4.血管炎 5.光線過敏症 6.脱毛症	原田 和俊（皮膚科学）
11月2日（月）2限　講義	炎症性皮膚疾患、皮膚感染症	1.湿疹・皮膚炎 2.じんま疹 3.紅斑症 4.薬　疹 5.皮膚感染症	伊藤 友章（皮膚科学）
11月2日（月）3限　講義	皮膚腫瘍・母斑 全身と皮膚	1.母斑・母斑症 2.皮膚良性腫瘍 3.皮膚悪性腫瘍 4.全身と皮膚	加藤 雪彦（皮膚科学）
11月4日（水）1・2限 講義	Summary ・整形外科 ・皮膚科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（泌尿器科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11202200	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 木／Thu 1, 木／Thu 2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	大野　芳正	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	大野 芳正	
科目担当者 ／Course Instructor	橋本 剛(泌尿器科学)、佐竹 直哉(泌尿器科学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月5日（木）1限　講義	尿路結石と尿路・生殖器の炎症	泌尿器良性疾患の診断、治療について理解できる。 1.尿閉・無尿 2.結石症 3.尿路閉塞性疾患 4.腎・尿路の炎症 5.男性生殖器の炎症	佐竹 直哉（泌尿器科学）
11月5日（木）2限　講義	腎･尿路･男性生殖器の腫瘍	泌尿器腫瘍の診断、治療について理解できる。 1.腎細胞癌 2.膀胱癌 3.前立腺肥大症 4.前立腺癌 5.精巣腫瘍	橋本 剛（泌尿器科学）
11月9日（月）1・2限 講義	Summary ・泌尿器科 ・精神科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（形成外科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11202300	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	水／Wed 3, 水／Wed 4	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	松村　一	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	松村 一	
科目担当者 ／Course Instructor	松村 一(形成外科学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月4日（水）3限　講義	熱傷、褥瘡	1.熱　傷 2.熱傷ショック 3.褥瘡	松村 一（形成外科学）
11月4日（水）4限　講義	外傷の治療 （軟部組織損傷、顔面外傷）	1.デブリードマン 2.皮膚欠損 3.顔面神経 4.耳介血腫 5.顔面骨折	松村 一（形成外科学）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（精神科）Section5	
時間割コード ／Course Code	11202400	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 2, 金／Fri 1, 金／Fri 2, 金／Fri 3	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	桝屋　二郎	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	桝屋 二郎	
科目担当者 ／Course Instructor	桝屋 二郎(精神医学)、本屋敷 美奈（精神医学）、石井 礼花(精神医学)、三苫 博（教学マネジメント統括本部）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月6日（金）1限　講義	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 気分（感情）障害 法律	1.うつ病 2.双極性障害 3.統合失調症 4.妄想性障害 5.非定型精神病 6.統合失調感情障害 7.精神保健福祉法	石井 礼花（精神医学）
11月6日（金）2限　講義	症状性を含む器質性精神障害 精神作用物質による精神および行動の障害	1.アルツハイマー病型認知症 2.血管性認知症 3.その他の認知症 4.せん妄 5.器質性精神病 6.症状性精神病 7.アルコール依存症 8.中毒精神病 9.睡眠障害	本屋敷 美奈（精神医学）
11月6日（金）3限　講義	神経症性ストレス関連 身体表現性障害 生理的障害 身体的要因に関連した行動症候群	1.恐怖症性不安障害、社会恐怖 2.パニック障害、全般性不安障害 3.強迫性障害 4.重度ストレス反応および適応障害 5.解離性（転換性）障害 6.身体表現性障害 7.摂食障害 8.児童思春期の精神疾患	桝屋 二郎（精神医学）
11月9日（月）1・2限 講義	Summary ・泌尿器科 ・精神科		三苫 博（教学マネジメント統括本部）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（救急・中毒）Section6	
時間割コード ／Course Code	11202500	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	木／Thu 1, 木／Thu 2, 木／Thu 3	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	本間　宙	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	本間 宙	
科目担当者 ／Course Instructor	本間 宙（救急・災害医学）、内田 康太郎（医学・看護学教育推進センター）、森永 顕太郎（救急・災害医学）	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月19日（木）1限　講義	心肺蘇生とその周辺の国試対策	二次救命処置の準備が説明できる 死亡診断書と死体検案書の違いを説明できる 異状死体の届け出に基準について説明できる ROSCとは何か説明できる 心拍再開後の治療を説明できる 脳死判定について説明できる 1．二次救命処置 2.ROSC 3．死亡診断書・死体検案書 4．異状死体 5.法的脳死判定	内田 康太郎（医学・看護学教育推進センター）
11月19日（木）2限　講義	急性中毒	1.特異的診断法 2.応急措置 3.解毒・拮抗薬	森永 顕太郎（救急・災害医学）
11月19日（木）3限　講義	特殊感染症	1.破傷風 2.ガス壊疽　他	本間 宙（救急・災害医学）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（麻酔）Section6	
時間割コード ／Course Code	11202600	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	金／Fri 1	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	中澤　春政	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	中澤 春政	
科目担当者 ／Course Instructor	柿沼 孝泰(麻酔科学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月20日（金）1限　講義	麻　　酔	1.吸入麻酔薬・静脈麻酔薬 2.術中合併症 3.硬膜外麻酔・脊髄クモ膜下麻酔 4.局所麻酔薬・神経ブロック 5.局麻中毒	柿沼 孝泰（麻酔科学）

開講科目名／Course	臨床医学Ⅴ（放射線）Section6	
時間割コード ／Course Code	11202700	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	金／Fri　2	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	齋藤　和博	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom		
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	齋藤 和博	
科目担当者 ／Course Instructor	三上 隆二(放射線医学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active	■該当しない □該当する　具体的な方法（　　）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	
	授業の到達目標③ ／Course Learning Objectives(3)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応③ ／Alignment with Diploma Policy (3)	
	授業の到達目標④ ／Course Learning Objectives(4)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月20日（金）2限　講義	国試からみた放射線医学	1.放射線の単位 2.放射線障害 3.放射線防護 4.造影剤の副作用	三上 隆二（放射線医学）

開講科目名／Course	臨床医学Ｖ（社会医学系）Section6	
時間割コード ／Course Code	11202800	
ナンバリングコード／Numbering Code	14801	
開講所属／Course Offered by	医学部医学科／	
ターム・学期／Term・Semester	2026年度／Academic Year　後期／Second Semester	
曜限／Day, Period	月／Mon 1, 月／Mon 2, 月／Mon 3, 火／Tue 1, 火／Tue 2, 火／Tue 3, 水／Wed 1, 水／Wed 2, 水／Wed 3, 金／Fri 1, 金／Fri 2, 金／Fri 3	
開講区分／semester offered	後期／Second Semester	
単位数／Credits	0.0	
学年／Year	6	
主担当教員／Main Instructor	濱岡　隆文	
科目区分／Course Group	臨床医学系科目　／臨床医学系科目	
教室／Classroom	自主自学館大教室／自主自学館大教室	
必修/選択 ／Required/Elective	必修	
授業形態 ／class format	講義	
科目責任者 ／Course Coordinator	濱岡 隆文	
科目担当者 ／Course Instructor	濱岡 隆文(健康増進スポーツ医学)、浦松 雅史(医療の質・安全管理学)、三島 史朗(医療の質・安全管理学)、高宮 朋子(公衆衛生学)、福島 教照(公衆衛生学)、菊池 宏幸(公衆衛生学)、小田切 優子(公衆衛生学)、町田 征己(公衆衛生学)、木目 良太郎(健康増進スポーツ医学)、黒澤 裕子(健康増進スポーツ医学)	
実務経験のある教員等による授業科目（計上状況） ／Courses Taught by Faculty with Practical Experience (Status of Inclusion)	該当する（本学附属病院等における医師としての実務経験を有する教員が、その臨床経験や専門分野を活かし授業を行う）	
アクティブラーニングへの適用 ／Application to Active Learning	□該当しない ■該当する　具体的な方法（毎講義前にe自主自学上に講義資料及び講義のポイントとなる要点セルフチェックを予習のため掲載する。これらを用いた予習を学生に促した上で講義を受講してもらい、講義後はおおよそ10～40題程度の二者択一問題形式の確認試験をe自主自学上で実施し、知識の習得を自ら確認できるよう試験正答と解説を掲載する。また、授業実施後にオンライン形式にてライブ質問会の時間を設け、教員との直接の質疑応答の時間を設定する。）	
授業目的・概要 ／Course Objectives and Overview		
授業の到達目標およびディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応 ／Course Learning Objectives and Alignment with Diploma	授業の到達目標① ／Course Learning Objectives(1)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応① ／Alignment with Diploma Policy (1)	
	授業の到達目標② ／Course Learning Objectives(2)	
	ディプロマ・ポリシー（教育到達目標）との対応② ／Alignment with Diploma Policy (2)	

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月13日（金）1限　講義	高齢者医療・介護・福祉	1.高齢社会の現状 2.地域包括ケアシステム 3.介護保険制度 4.在宅ケア	高宮 朋子（公衆衛生学）
11月13日（金）2限　講義	地域保健活動と保健医療行政	1.プライマリヘルスケア 2.医療法 3.医療計画 4.医療資源 5.保健医療行政 6.救急医療と僻地医療	菊池 宏幸(公衆衛生学)
11月13日（金）3限　講義	国民の健康水準	1.国民医療費 2.国民生活基礎調査・患者調査 3.国勢調査 4.人口統計（出生・死亡）	町田 征己(公衆衛生学)
11月16日（月）1限　講義	母子保健・学校保健	1.母子保健法 2.健やか親子21（第2次） 3.児童虐待防止法 4.学校保健安全法 5.学校精神保健ほか	高宮 朋子(公衆衛生学)
11月16日（月）2限　講義	疫 学	1.疫学研究法 2.研究デザイン 3.尤度比、事前・事後確率 4.臨床疫学ＥＢＭ 5.統計	福島 教照(公衆衛生学)
11月16日（月）3限　講義	生活環境保健	1.生物濃縮 2.地球環境の変化 3.環境汚染と健康 4.騒音・振動の健康影響 5.放射線の健康影響	木目 良太郎(健康増進スポーツ医学)
11月17日（火）1限　講義	産業保健	1.労働衛生関連法規 2.労働衛生管理 3.産業医の職務 4.労働災害 5.職業性健康障害	小田切 優子(公衆衛生学)
11月17日（火）2限　講義	精神保健福祉	1.精神保健福祉法 2.精神障害者の医療 3.精神保健福祉センター 4.メンタルヘルス対策 5.自殺対策基本法	小田切 優子(公衆衛生学)
11月17日（火）3限　講義	感染症・国民栄養と食品保健	1.感染症新法 2.感染症の最近の動向 3.予防接種 4.国民栄養の現状と対策 5.食品の安全性と機能性	町田 征己(公衆衛生学) 黒澤 裕子(健康増進スポーツ医学)
11月18日（水）1限　講義	医の倫理と医師の義務	1.医の倫理 2.ヘルシンキ宣言 3.医師法 4.医療法	三島 史朗(医療の質・安全管理学)

授業計画詳細／Course schedule

回（日時） ／Time (date and time)	主題と位置付け（担当） ／Subjects and instructor's position	学習方法と内容 ／Methods and contents	備考 ／Notes
11月18日（水）2限　講義	患者安全	1.リスク管理 2.インフォームドコンセント 3.質改善 4.タイムアウト 5.フールプルーフ	浦松 雅史(医療の質・安全管理学)
11月18日（水）3限　講義	健康増進・生活習慣病対策	1.健康・予防医学の概念 2.国民健康づくり運動 3.健康増進法 4.特定健康診査・特定保健指導 5.生活習慣病のリスクファクター	濱岡 隆文(健康増進スポーツ医学)